

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 2 月 4 日
東京電力株式会社

< 1 . 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (2/4 11:00 時点)

号機	注水状況	原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h 給水系：約 2.5 m ³ /h	16.3	104.9 kPa abs	A系： 0.05 vol% B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.5 m ³ /h 給水系：約 2.0 m ³ /h	25.8	7.21 kPa g	A系： 0.07 vol% B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.0 m ³ /h 給水系：約 2.0 m ³ /h	22.2	0.22 kPa g	A系： 0.09 vol% B系： 0.06 vol%

*1：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

- ・H26/2/1 2月分の原子炉の冷却に必要な注水量について、1号機 1.8m³/h、2号機 2.4m³/h、3号機 2.3m³/hと定め、運用を開始。
- ・H26/2/4 3号機について、汚染水処理の負担低減および原子炉冷却のリスクを総合的に判断し、炉心スプレイ系の注水流量を 1.0m³/h 低減させる。最初の操作として炉心スプレイ系の注水流量を 3.5m³/h から 3.0m³/h へ変更予定。操作終了後、冷却状態を確認し、1週間を目処に炉心スプレイ系の注水流量を 3.0m³/h から 2.5m³/h へ変更予定。

< 2 . 使用済燃料プールの状況 > (2/4 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	14.0
2号機	循環冷却システム	運転中	13.5
3号機	循環冷却システム	運転中	12.1
4号機	循環冷却システム	運転中	17.5

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

- ・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。

< 3 . タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋 [高温焼却炉建屋])	1/24 14:37 ~ 移送実施中

< 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (2/4 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。

< 5 . その他 >

- ・1/29～ 凍結管を設置するための削孔については、掘りあがった温度測定用の孔にカメラを挿入して、トレンチ内部状況を再度、慎重に確認したうえで削孔開始することとしていたが、トレンチ内部の状況が確認できたことから、凍

結管を設置するための削孔を実施中。

【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・H25/12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

<タンクエリアパトロール実績(2/3)>

- ・高線量当量率箇所(+ 線(70 μ m線量当量率))は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1,2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は2/3 0:00 時点で約7,568m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.1-16 で高い濃度の全ベータが検出されていることから、当該観測孔近傍に設置した地下水汲み上げ用の孔(No.1-16(P))の地下水の汲み上げ水の核種分析を実施。

[地下水汲み上げ用の孔 No.1-16(P)からの汲み上げ水の分析結果:1/29 採取分]

- ・セシウム 134:検出限界値未満(検出限界値:0.42 Bq/L)
- ・セシウム 137:検出限界値未満(検出限界値:0.52 Bq/L)
- ・全ベータ :検出限界値未満(検出限界値:18 Bq/L)

地下水観測孔 No.1-16(P)については、全ベータ濃度が高い地下水観測孔 No.1-16 の近傍の井戸であるのに対して、検出限界値未満であるが、汲み上げ水の移送配管敷設時のリークチェックに使った残水を採水している可能性等が考えられることから、1/30 再度サンプリングを実施。

[地下水汲み上げ用の孔 No.1-16(P)からの汲み上げ水の分析結果:1月 30 日採取分]

- ・セシウム 134 :検出限界値未満(検出限界値:2.1 Bq/L)
- ・セシウム 137 :検出限界値未満(検出限界値:1.0 Bq/L)
- ・アンチモン 125:10 Bq/L
- ・全ベータ :1,700,000 Bq/L
- ・トリチウム :41,000 Bq/L

全ベータおよびトリチウムの測定結果が、地下水観測孔 No.1-16 と同程度であることが確認されたので、今後、No.1-16(P)により汲み上げを実施する。

その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<移送関係>

- ・2,3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・H25/12/11～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。
- ・H26/1/29～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.1-16 で高い濃度の全ベータが検出されていることから、当該観測孔近傍に設置した地下水汲み上げ用の孔(No.1-16(P))からの地下水の汲み上げを適宜実施中。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。
- ・H26/1/30～地下貯水槽 No.1～3 における貯水槽内部の残水について、H1 東エリアタンクへの移送を適宜実施。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上